

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	A-110	21-029 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Trends and differences in alcohol-related mortality rates by gender and by prefectures in Japan between 1995 and 2016 1995 から 2016 年間の日本での性別、県別のアルコール関連死亡率の傾向と差		
執筆者		
Aya Kinjo, Bolormaa Purevdorj, Tomomi Okada, Yuki Kuwabara, Maya Fujii, Susumu Higuchi, Yoneatsu Osaki		
掲載誌		
Drug Alcohol Depend. 2021 Apr 1;221:108586. doi: 0.1016/j.drugalcdep.2021.108586.		
キーワード		PMID
100%アルコール関連死、年齢調整死亡率、酒税率軽減		33657468
要 旨		
<p>目的： 日本国内における 1995 から 2016 年間での 100%アルコール関連死（ARD）の増加と地域間での違いの原因を調査する。</p> <p>方法： 国の人口動態統計の 1995-2016 年間での 100%ARD 登録データを使用し、年、性別、性別割合別の 100%ARD の年齢調整死亡率（ASMR）を算出した。期間を 1995-2005 年と 2006-2016 年に分け、県別の ARD の年齢調整死亡率を算出した。地理的地域、自治体の人口規模、成人一人当たりのアルコール飲料販売量により各県をグループ分けし、解析した。</p> <p>結果： 1995-2016 年の 100%ARD は合計 95,455 人で、男性の 100%ARD の ASMR は 1995 年の 4.0/100,000 人から 2010 年と 2013 年の 5.2/100,000 人へと顕著に増加し、2016 年の 5.0/100,000 人へ徐々に低下していた。女性は 1995 年の 0.3 人から 2016 年の 0.8 人へ着実に増加していた。ASMR の女性に対する男性の比は 1995 年の 13.3 から 2016 年の 6.3 へ減少した。酒税率が軽減されている県は男女共に ASMR が高く、アルコール飲料販売量が多い都道府県の ASMR も低い都道府県と比較し有意に高かった。</p> <p>結論： 100%ARD の ASMR は男性で高く維持され、女性は増加している。県別のアルコール飲料の販売量高と酒税軽減は高い死亡率と相関がある。アルコール飲料の価格や税を上げたり、販売量を減少させることは ARD を減少させることが可能と思われる。</p>		